

# ドリームナイト・アット・ザ・ズー

8月23日(月)、千葉市動物公園にて「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」が開催されました。淑徳大学は共催として、多くのボランティア団体、個人学生がボランティアに参加しました。私たちボランティアセンターからも9名の常任支援員が参加しました。



「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」とは、毎年特定の日に障害のあるお子さんとそのご家族を動物園に招待し、楽しいひと時を過ごしてもらうことを目的とした国際的なイベントです。現在、世界36カ国、217の動物園・水族館がこれに賛同し、実施しています。今回はおよそ70組の障がい児者の方々と、そのご家族や付き添いの方々が招待されました。

当日は開会式前まで雷が響き夕立ちなどの心配もしましたが、いつの間にか雷も遠ざかり、相変わらずの猛暑ではありましたが、絶好の動物園日和となりました。



私たちボランティアセンターは、団体としてではなく個人ボランティアとしての参加でした。個人ボランティアはそれぞれテンジクネズミ(モルモットの正式名称)の触れ合いコーナーの補助、スタンプラリーの案内、バルー

ンアートの補助など、お客様の笑顔に励まされながら、とても楽しく活動させていただきました。

触れ合いコーナーでは、初めはテンジクネズミを怖がりお母さんの陰に隠れて眺め



ていたお子さんが、ボランティア学生の補助でテンジクネズミに餌を与えた時に「可愛い！」と笑顔になった瞬間がとても印象に残っています。そのお子さんの「動物が苦手」であるという気持ちに、お手伝いとしてその場に居ただけの一学生で

あった私たちが少しでも「動物って可愛いんだよ！」と働きかけることができたなら、私たちにとってもとても意義のある、大変嬉しい体験でした。

動物を見て笑顔になるお子さんたちや、そんなお子さん達を見守る優しいご家族の姿を見て、こんな機会がもっともっと増えれば良いのに、という気持ちになりました。

ご来園いただきましたみなさん、ありがとうございました！



常任支援員 倉持裕子